

講師紹介

アトピー性皮膚炎のかゆみをやっつけよう

順天堂大学浦安病院皮膚科特任教授 高森建二 先生

アトピー性皮膚炎の症状の中で最も重要な症状がかゆみです。かゆみは搔破を誘導し症状の増悪を来たします。従ってかゆみを止めることがアトピー性皮膚炎の治療として最も重要なこととなります。しかし、アトピー性皮膚炎のかゆみは蕁麻疹や虫刺されの痒みと違って、抗ヒスタミン薬の内服だけではなかなか止めることが出来ません。何故でしょうか。本日の講演ではアトピー性皮膚炎のかゆみの原因と対策についてお話し致します。

1967年 3月	順天堂大学医学部卒業		1983年 4月	順天堂大学医学部皮膚科学	講師
1967年 4月	順天堂大学医学部生化学	専攻生	1987年 3月	同上	助教授
1971年 4月	順天堂大学医学部生化学	助手	1993年10月	順天堂大学医学部皮膚科学	教授
1976年 4月	順天堂大学医学部第2生化学	講師		順天堂大学大学院医学研究科皮膚科学	教授
1977年 9月	米国 Duke 大学医学部皮膚科	Research Associate	2002年 4月	順天堂大学医学部附属浦安病院	副院長
1980年 4月	順天堂大学医学部皮膚科学	助手	2005年 4月	順天堂大学医学部附属浦安病院	院長 (2012年3月迄)
1982年 4月	越谷市立病院皮膚科	部長	2007年 4月	順天堂大学	名誉教授 (現在に至る)
			10月	順天堂大学大学院医学研究科皮膚科学	特任教授 (現在に至る)
			2008年 9月	順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所	所長 (現在に至る)

吸入ステロイド薬の吸入指導

おとし内科クリニック院長 大利隆行 先生

気管支喘息がアレルギー性の慢性疾患であることは、専門医以外にも次第に認識されるようになってきているが、吸入ステロイド剤 (ICS) の普及はまだ不十分である。前医でICSを使用しているにもかかわらず喘息発作を繰り返している患者の中に、吸入指導が全くされていなかったりする例もある。ICSと長期作用性吸入 β 2刺激薬 (LABA) との合剤の出現により、喘息の管理はより簡単にかつ改善され、今後の治療薬の発展にも期待が持たれるが、今後、ICSの普及とともに、吸入指導の充実、調剤薬局を含めたきめ細かい指導が必要である。

1980年	東京大学医学部医学科卒業
1980年	東大病院内科研修医
1981年	東芝中央病院内科
1983年	東大物療内科 (現アレルギーリウマチ内科)
1988年	カナダ、マックマスター大学留学 (気道上皮細胞、サイトカインの研究)
1991年	大蔵省 (現財務省) 勤務と同時に東大アレルギーリウマチ内科で研究
2001年	おとし内科クリニック開業 (10月より) し、現在に至る



<参加申込・お問合せ先>

認定NPO法人 日本アレルギー友の会

TEL 03-3634-0865

FAX 03-3634-0850

<http://www.allergy.gr.jp/>

E-mail j-allergy@nifty.com

毎週火曜日・土曜日 11:00 ~ 16:00

11月12日から11月17日は毎日受付

<講演会会場>

フォーラムミカサ エコ

〒101-0047 千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル

TEL 03-3291-1395

アトピー性皮膚炎・ぜんそく

「身につけよう最新治療とその実践」 ～講演会とQ&A～

2012年

11月18日(日)

12:30～16:00

(開場12:00) 入場無料

第一部 講演



高森建二 先生



大田隆行 先生

フォーラムミカサ エコ (裏面地図参照)

東京都千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル

●JR・銀座線 神田駅 徒歩5分

●丸の内線 淡路町駅 徒歩5分

●千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩6分

●都営新宿線 小川町駅 徒歩5分

主催 認定NPO法人 日本アレルギー友の会
後援 公益財団法人 日本アレルギー協会

1. アトピー性皮膚炎のかゆみをやっつけよう

順天堂大学浦安病院

皮膚科特任教授 高森建二 先生

2. 吸入ステロイド薬の吸入指導

おとし内科クリニック

院長 大田隆行 先生

3. 専門医による実践吸入・スキンケアのコツ

常任顧問・当会スタッフ

◎講師紹介・Q&A司会

関東中央病院呼吸器内科部長・当会常任顧問

坂本芳雄 先生

東京逋信病院皮膚科部長・当会常任顧問

江藤隆史 先生

第二部

先生を囲んでQ&A

現在の治療に満足していますか。不安なこと、不明点はすべて主治医とのコミュニケーションで解消されていますか。

第二部は、アトピー性皮膚炎・ぜんそくのそれぞれのグループに分かれ講師を囲んでQ&Aを行います。ご自身の不安や悩みを直接専門医に質問することができます。セカンドオピニオンを受ける絶好のチャンスです。

※来場者の方に治療情報冊子・敏感肌用化粧品のサンプルを差し上げます!